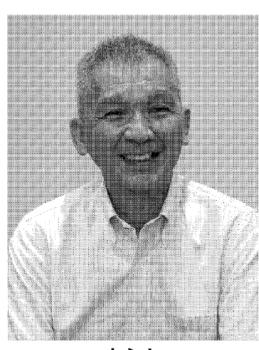


人と企業が交差する 宮崎県えびの市

宮崎県えびの市が分譲中の「えびのインター産業団地」で、企業進出が着実に積み上がっている。特に物流分野で、同市に優位性を見いだす企業の受け皿として投資が相次ぐ。宮崎県の最西部にあり、熊本と鹿児島両県と接するなど南九州の中央部に位置し、市内で3方向に分岐する高速道路の利便性が生きている。

インタビューの内容は「えびの市広報」公式YouTubeチャンネルを再構成したものです

医療機関向け配送 “恵まれた立地”



キシャ 高崎万寿男 専務

キシャは1910年に創業し、福岡市に本社を置いています。九州各地の医療機関に向けて多様な医療材料を販売する企業です。注射器や針といった商品から、磁気共鳴断層撮影装置(MRI)などまで幅広く提供しています。なかでもSPD事業は病院内の医療材料すべてを一元管理する物流システムを用いて、顧客の要望に応えるべく取り組んでいます。

た病院向けサービスで、93年に全国に先駆けて始めました。えびの市に開設した物流センターは熊本南部、宮崎、鹿児島で物流の要となる拠点です。自然災害や地震などが起きた際にも、医療現場に向けた安定供給を実現するために進出しました。各事業所の戦略と連動しながら、顧客の要望に応えるべく取り組んでいます。



低温物流センターの落成式



施設内部

また立地企業への雇用促進助成金最大1000万円。用地取得や工場建設にかかる優遇制度もある。テナント型物流施設を設ける事業者も対象だ。宮崎県も九州で高水準となる限度額50億円の立地促進補助金を用意しており、地域を挙げて進出をサポートする。

低温倉庫が完成 高まる物流総合力

2月上旬、えびのインター産業団地では、八代丸善運輸(熊本県八代市)が建設していた「えびの産業団地第2低温物流センター」が稼働した。一部が建て、延べ床面積約3700平方メートルの施設で、同団地で初の冷蔵・冷凍機能を持つ倉庫となる。中山義彦えびの市長は「産業活性化に向けて団地が一段進んだ」と祝辞を送った。同センターは、低温物流大手のムロオ(広島県呉市)が施設本体を借り受けて運用する。えびの市内の営業所を移転し、機能を強化する。宮崎、鹿児島

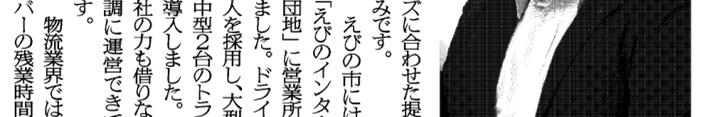
えびのインター産業団地 人材確保、地の利で誘致堅調

マルセングループ協同組合(福岡県久留米市)は24年、同団地に大型の賃貸型物流センターを開業。医療機器、園芸・農業用品、菓子の商社が入居している。今回の低温施設の完成で、団地内には温度帯の物流施設が整い、総合力が高まった。相次ぐ企業進出には、市の後押しも大きい。労働力確保では1人最大40万円の助成金を従業員に直接給付する。労働人口は隣6市町を含め約7万人に上る。ムロオは50人規模の新規雇用を計画したが、市による確保のめどをつけることができたという。

「なぜ、えびの？」立地企業に聞く

南九州の拠点化で「2024年問題」解決へ

八代丸善運輸は2006年に熊本県八代市で設立した。「一般」第一種の貨物運送業、倉庫業を営んでいます。八代港の大型冷凍倉庫や35台の大型冷凍車を駆使し、青果や食品をはじめとする貨物を冷凍・冷蔵で全国に配達しています。こうした経営資源と人材の総合力を背景にした、顧客一

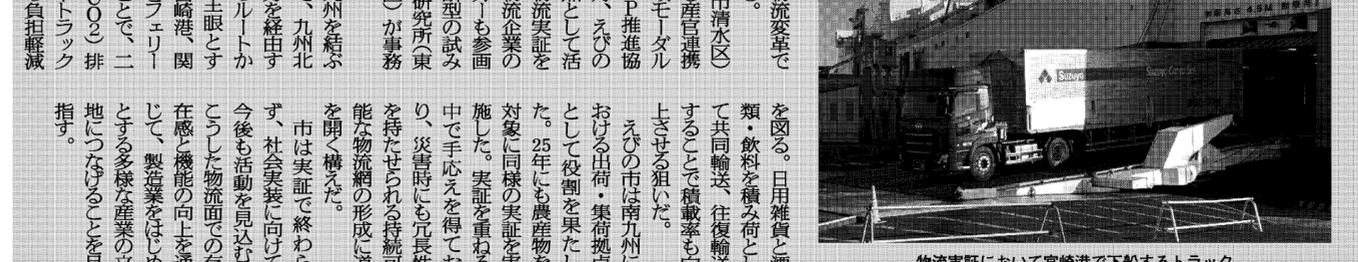


八代丸善運輸 寺口賢 社長

えびの市には24年、「えびのインター産業団地」に営業所を構えました。ドライバー5人を採用し、大型トラックを導入しました。協力会社の力も借りながら順調に運営できています。物流業界ではドライバーの確保が最大の課題です。えびの市は24年、市から南九州や熊本に向けて「えびのインター産業団地」に営業所を構える企業に対し、生産性を高めることができています。進出から1年が経過し、運営開始にまでこぎつけたのは、人材採用をはじめとする、市の支援があったからこそと強く感じています。

新たな物流網の基点に 産官・異業種連携で実証

えびの市は交通の要衝に位置づけられ、多数の製造業や物流業が拠点を置く。市内を貫く九州自動車道は、北方面で福岡・熊本、南方面で鹿児島と接続する。九州道は市内で宮崎道が東に分岐し、都城市や宮崎市と直接つながる立地にある。事業継続計画(BCP)の観点からも注目される。南海トラフ地震に対する津波被害の想定はなく、宮崎県内の後方支援拠点にもなっている。市内に駐車する陸上自衛隊との連携も強い。こうした地理的条件を生かした、広



物流実証において宮崎港で下船するトラック

陸・海路で関西往復 モーダルシフト、BCPに強み

宮崎県えびの市 対象業種・物流業・製造業・小売業等

えびのインター産業団地

宮崎県の補助限度額50億円
えびの市独自の助成金と九州高水準の宮崎県補助金も併給可能!

優れた交通アクセス
産業団地から九州自動車道えびのICまで500m。国道にも直結!

良質な「水」と新鮮な「食」
霧島連山の麓に位置し、豊かな自然の恵みである温泉・良質な水そして宮崎牛やえびの米など新鮮で美味しい農畜産物が魅力

分譲単価 **12,000円/m²** (39,600円/坪)

事業主体	宮崎県えびの市	電力	高圧6.600V 特別高圧22,000V
面積	全体面積:17.3ha 分譲対象:11.37ha 分譲可能:6.09ha	ガス	特別高圧66,000V (電力会社へ要事前相談)
対象業種	物流、製造、小売業等	情報インフラ	えびの変電所まで1km LPガス 光回線利用可
用途地域	都市計画区域内(非線引き区域)	分譲価格	12,000円/m ² (造成後価格)
用水	えびの市上水道、地下水	用地取得費の助成制度あり	
排水	企業内処理→調整池→用排水路		

分譲用地、一般道路、主要区画道路、幹線道路、公園等、調整池、国道

労働力確保を支援
近隣6市町を含めた労働力人口は約7万人。人材マッチングも支援「雇用対策助成金」として1人最大40万円を従業員に直接交付

地区	総人口	生産年齢人口
えびの市	17,638	8,188
小林市	43,670	21,866
高原町	8,639	4,050
湧水町	9,119	4,201
伊佐市	24,453	11,490
人吉市	31,108	15,261
錦町	10,288	5,330
合計	144,915	70,386

令和2年国勢調査

南九州のど真ん中 えびの市で、新たなビジネスチャンスをつかまいませんか!

Access

■ 高速道路利用での所要時間 (えびのICから)

福岡IC 約2時間25分
熊本IC 約1時間20分
宮崎IC 約1時間
鹿児島IC 約50分

■ 空港までの所要時間 (えびのICから)

鹿児島空港 約30分
宮崎空港 約1時間
熊本空港 約1時間20分

■ 港までの所要時間 (えびのICから)

八代港 約1時間10分
宮崎港 約1時間
志布志港 約1時間30分

宮崎県 企業立地課 〒889-4292 宮崎県えびの市大字栗下1292番地
TEL 0984-35-3727 FAX 0984-35-0401

企業立地促進補助金(宮崎県・えびの市) 県の補助金と市の優遇制度は併用が可能です。非常に充実した内容となっておりますので制度の詳細について、ぜひ一度お問い合わせください。